

**ZENRIN**

証券コード:9474

# 2024年3月期 第3四半期 決算説明資料

2024年2月1日

Maps to the Future

株式会社 **ゼンリン**

## 1. 2024年3月期 第3四半期決算概要

- 1) 決算概要
- 2) 売上高・利益の推移
- 3-①) 営業利益の増減要因【事業別売上高内訳】
- 3-②) 営業利益の増減要因【売上高・費用内訳】
- 4) 事業別 第3四半期累計売上高の推移
- 5) 設備投資額・減価償却費・研究開発費

# 1) 決算概要

## 2024年3月期 第3四半期決算のポイント 前年同期比 【増収減益】

### 売上高

- プロダクト関連で企業向け受託案件などが減少したものの、自動車生産の持ち直しを背景としたカーナビ用データ販売の大幅増加や、官公庁向けの受託案件、住宅地図データの提供などが堅調に推移し、第3四半期としては3期連続の増収

### 費用 ・ 損益

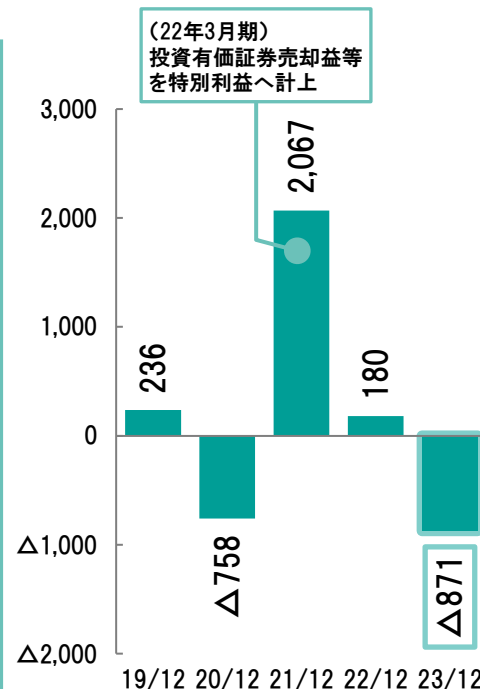
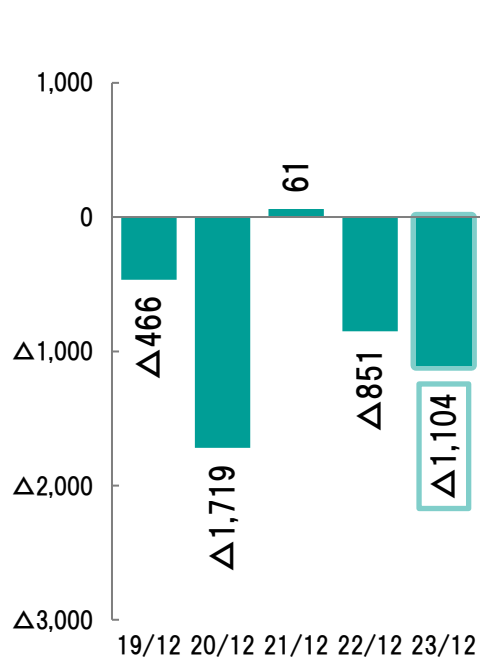
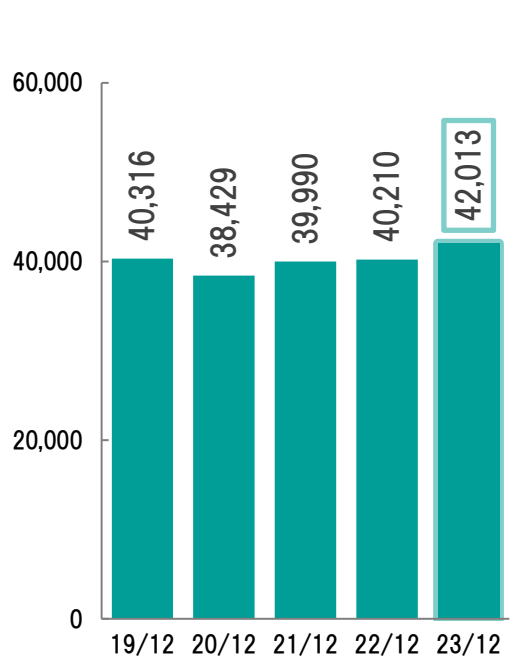
- 増収に伴う売上原価及び位置情報の精度向上に係る地図データベース整備費用などの増加に加え、物価上昇や賃上げによる人件費などの営業費用が増加したことにより、第3四半期としては2期連続の減益  
※営業費用の増加は当期業績予想に織り込み済み  
※地図データベース整備費用等の固定費は年間を通して発生する一方、売上高は季節的変動が著しく第4四半期に集中する傾向にあり、費用先行で推移

	前期実績 (23/3 3Q)	当期実績 (24/3 3Q)	前年同期比		(金額単位:百万円)
				増減率	
売上高	40,210	42,013	1,802	+4.5%	
営業費用	41,062	43,117	2,055	+5.0%	
営業利益	△851	△1,104	△252	-	
営業利益率	△2.1%	△2.6%	△0.5pt	-	
経常利益	△643	△1,097	△454	-	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	180	△871	△1,052	-	

固定資産売却益や子会社出資金売却益等を特別利益へ計上

2) 売上高・利益の推移

(金額単位:百万円)



売上高

営業利益

経常利益

親会社株主に帰属する  
四半期純利益

+1,802百万円  
(+4.5%)

Δ252百万円  
(-)

Δ454百万円  
(-)

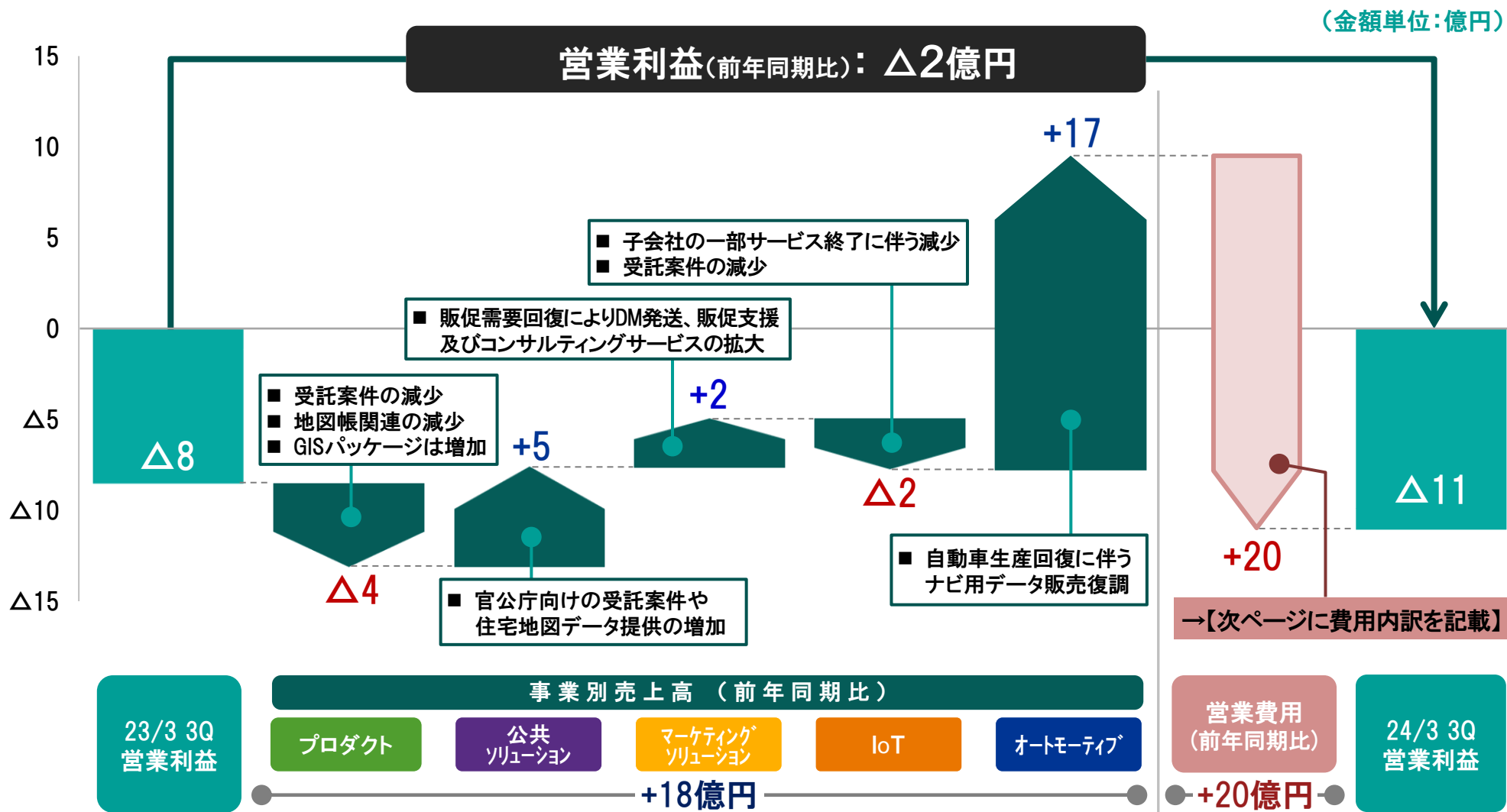
Δ1,052百万円  
(-)

3期連続 増収

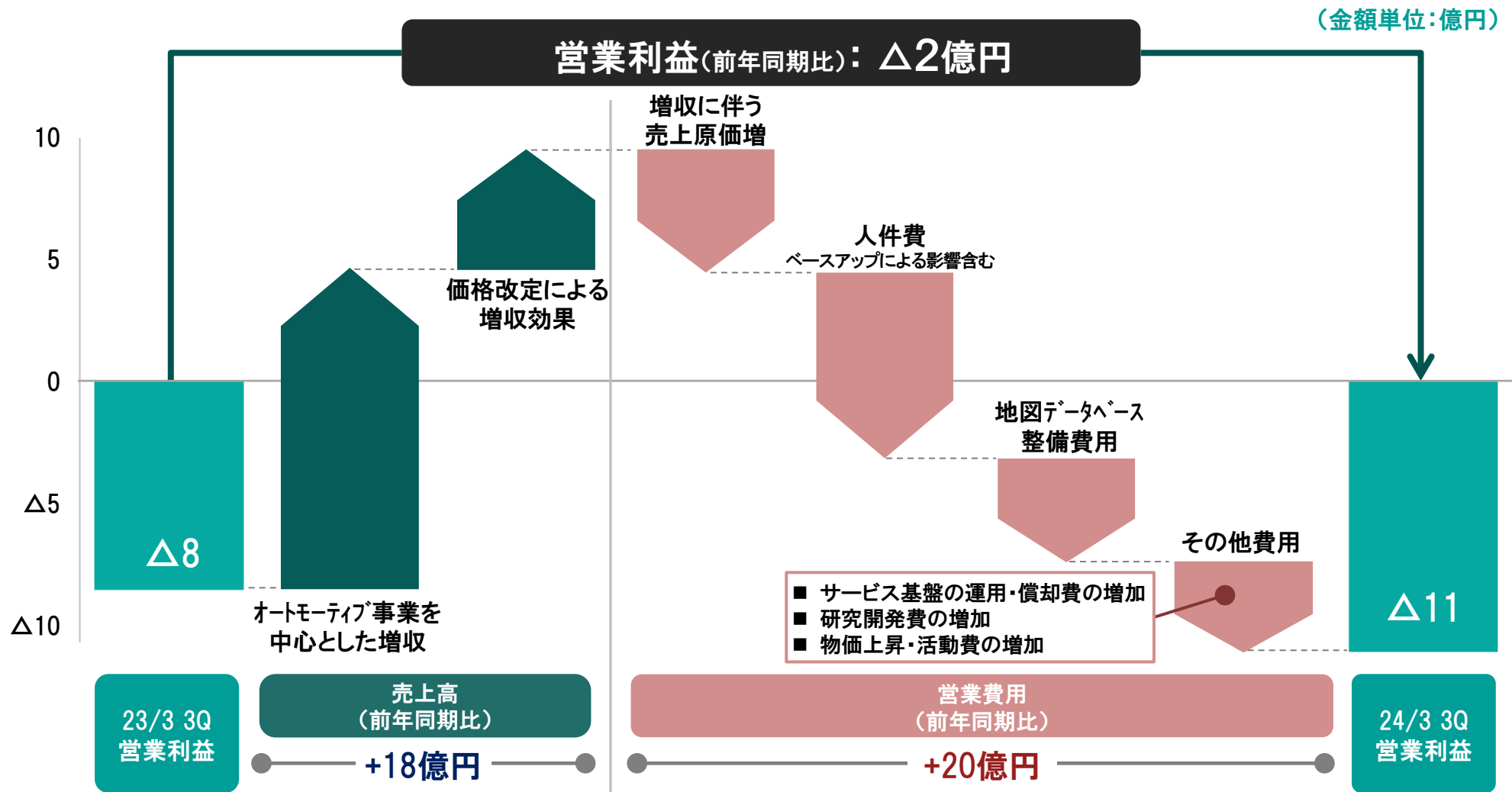
2期連続 減益

※ 2022年3月期第1四半期より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」)等を適用しておりますが、2021年3月期以前の数値については、収益認識会計基準等を遡及適用していません。(次ページ以降同様)

3-①) 営業利益の増減要因【事業別売上高内訳】

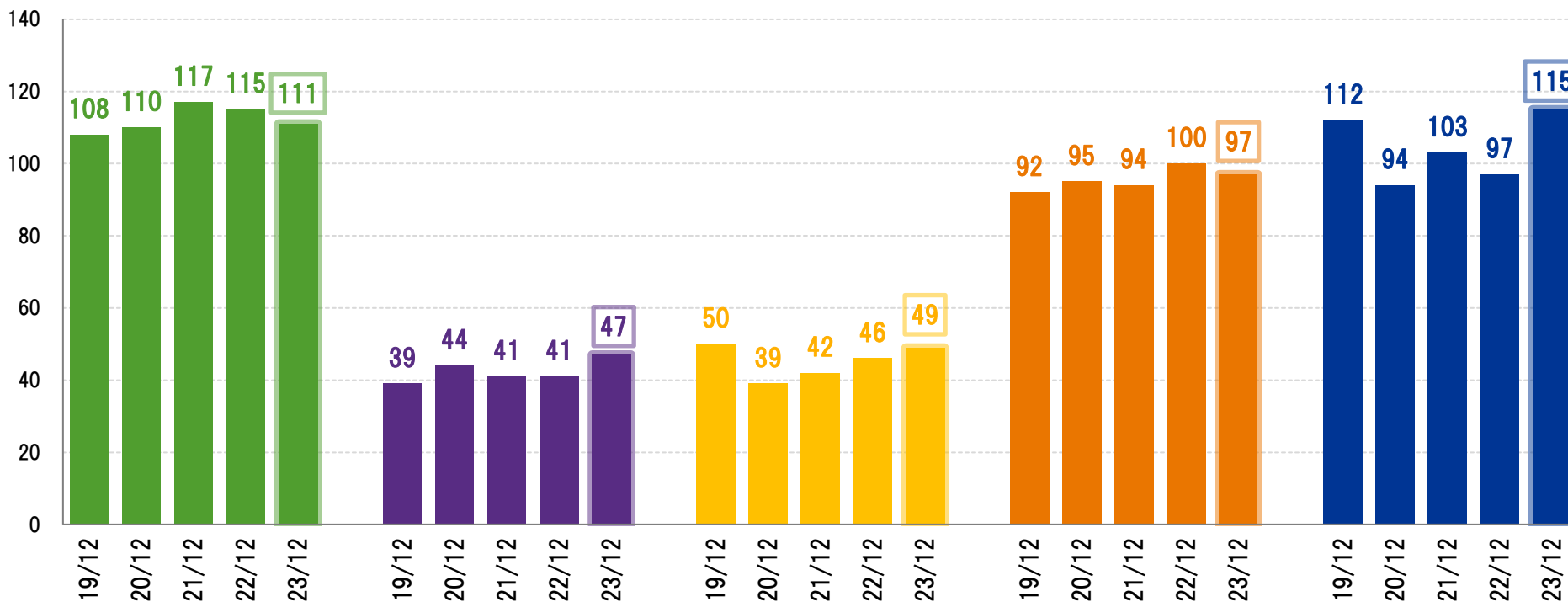


3-②) 営業利益の増減要因【売上高・費用内訳】



## 4) 事業別 第3四半期累計売上高の推移

(金額単位:億円)



プロダクト

△4億円  
(△4.0%)

公共ソリューション

+5億円  
(+13.2%)

マーケティングソリューション

+2億円  
(+5.8%)

IoT

△2億円  
(△2.8%)

オートモーティブ

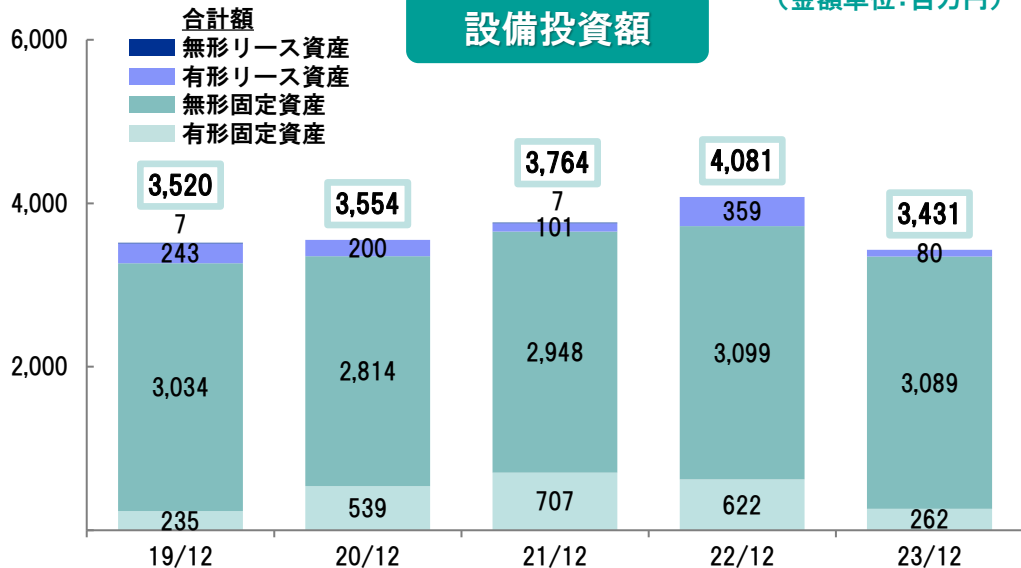
+17億円  
(+17.7%)

前年同期比  
(増減率)

# 5) 設備投資額・減価償却費・研究開発費

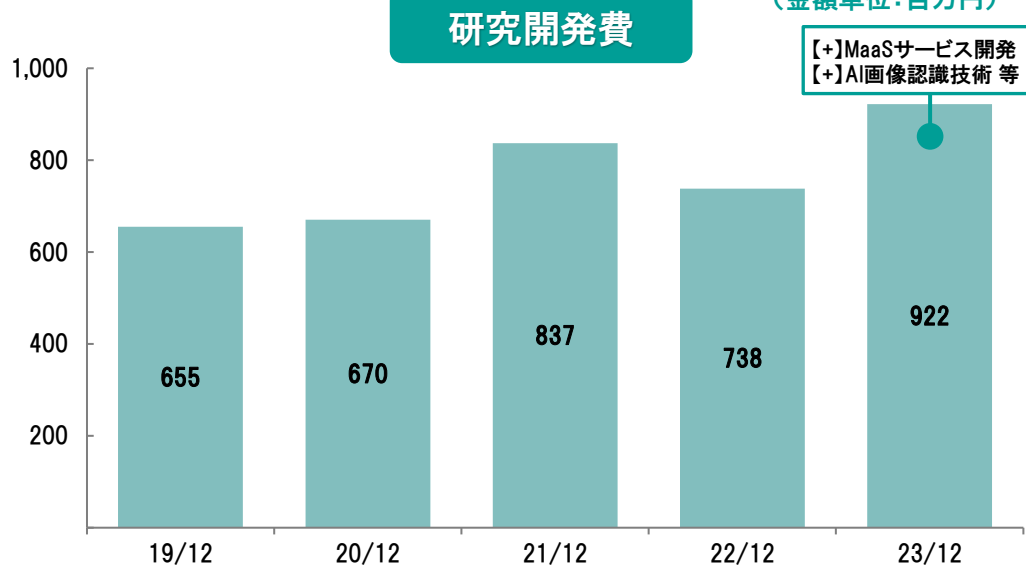
(金額単位:百万円)

## 設備投資額



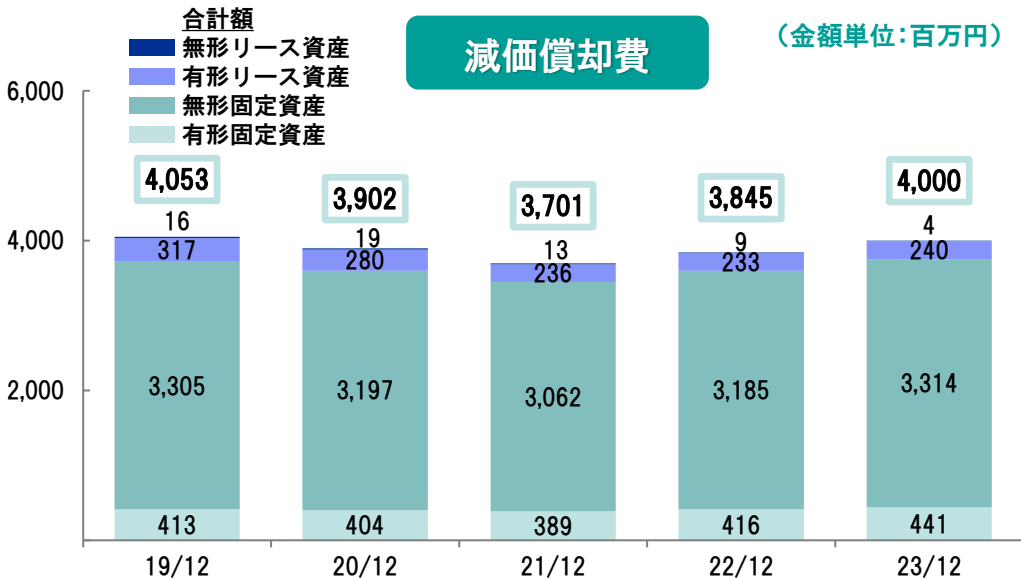
(金額単位:百万円)

## 研究開発費



(金額単位:百万円)

## 減価償却費





## 2. Appendix

### 【2024年3月期 通期業績予想】

- 1) 通期業績予想
- 2) 売上高・利益の推移
- 3) 通期業績予想の前提
- 4) 事業別売上高の推移
- 5) 事業別売上高の四半期別推移
- 6) 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 7) 四半期売上高構成比率の推移
- 8) 価格改定による増収効果について

### 【トピックス】

- 9) 主なニュースリリース・お知らせ

# 1) 通期業績予想

第4四半期に売上高が集中する傾向に加え、取り巻く環境に不確定な要素が多いことから、2023年4月28日公表の業績予想を据え置き

売上高

- 自動車の生産が回復傾向にあることに伴い、オートモーティブ事業の増収を見込むとともに、引き続き、GISパッケージなどのストック型サービスや、ソリューションサービスの拡大に取り組む

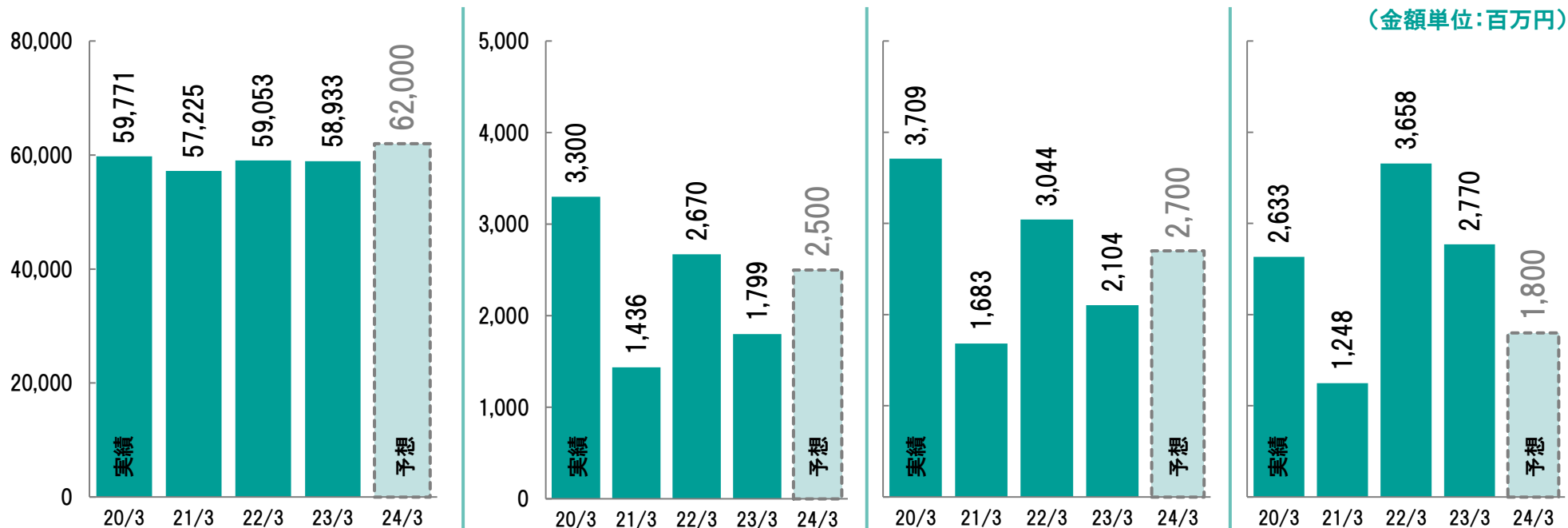
費用  
・  
損益

- 費用面ではエネルギー・原材料価格の高騰や、賃上げによる人件費の増加を見込む商品・サービスの価格改定(値上げ)も順次実施するが、2024年3月期の業績への影響は限定的
- 親会社株主に帰属する当期純利益は、前期、投資有価証券売却益、固定資産売却益等を特別利益に計上したが2024年3月期は特別損益の大きな影響は見込んでいないため、前期比で減益

(金額単位:百万円)

	2023年3月期 実績	2024年3月期 予想	前期比	
				増減率
売上高	58,933	62,000	+3,066	+5.2%
営業費用	57,134	59,500	+2,365	+4.1%
営業利益	1,799	2,500	+700	+39.0%
営業利益率	3.1%	4.0%	+0.9pt	-
経常利益	2,104	2,700	+595	+28.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,770	1,800	△970	△35.0%

## 2) 売上高・利益の推移



売上高

**+3,066百万円**  
(+5.2%)

営業利益

**+700百万円**  
(+39.0%)

経常利益

**+595百万円**  
(+28.3%)

親会社株主に帰属する  
当期純利益

**△970百万円**  
(△35.0%)

2期ぶり 増収

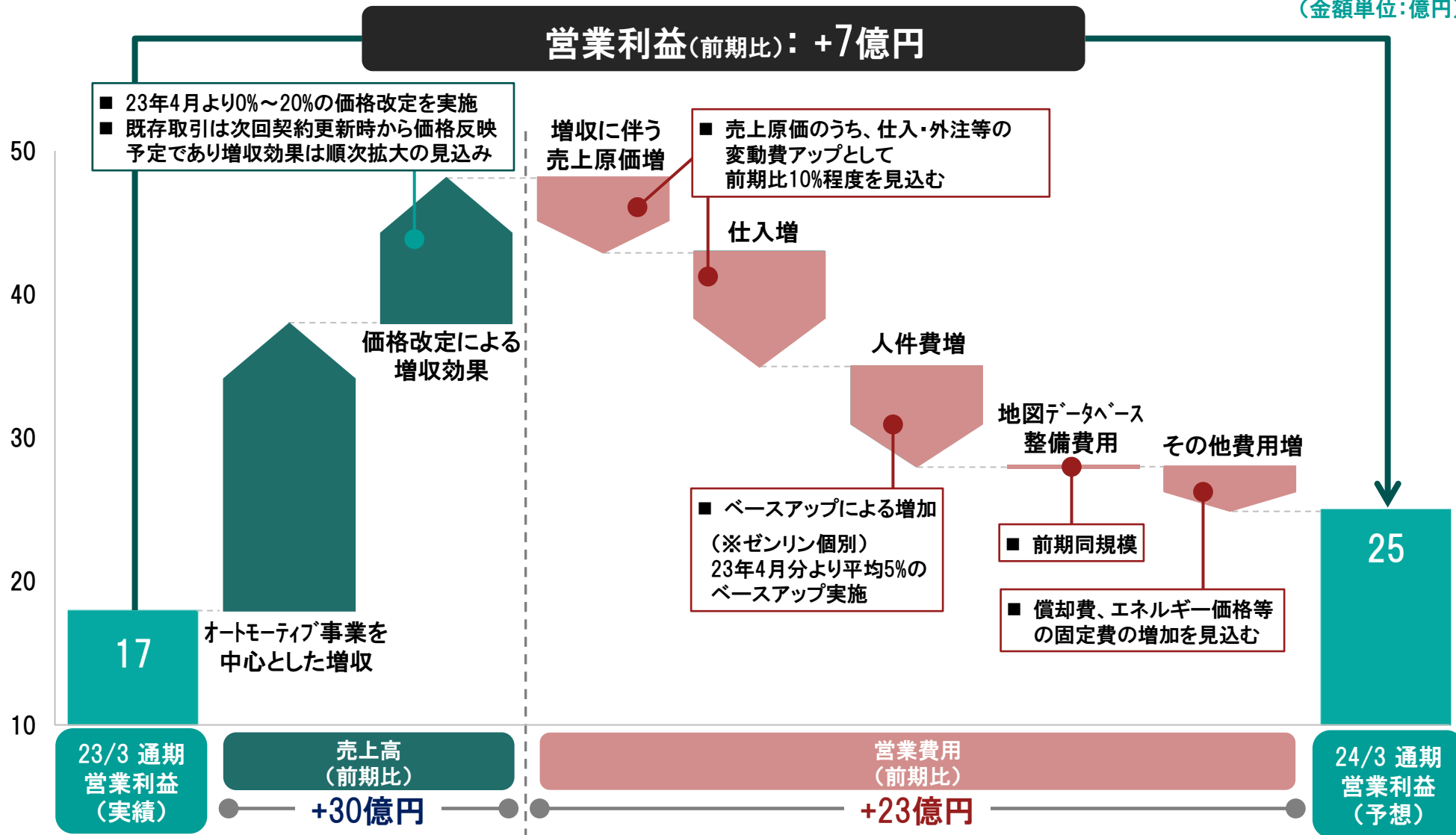
2期ぶり 増益

2期連続 減益

当期予想・  
前期実績  
比較  
(増減率)

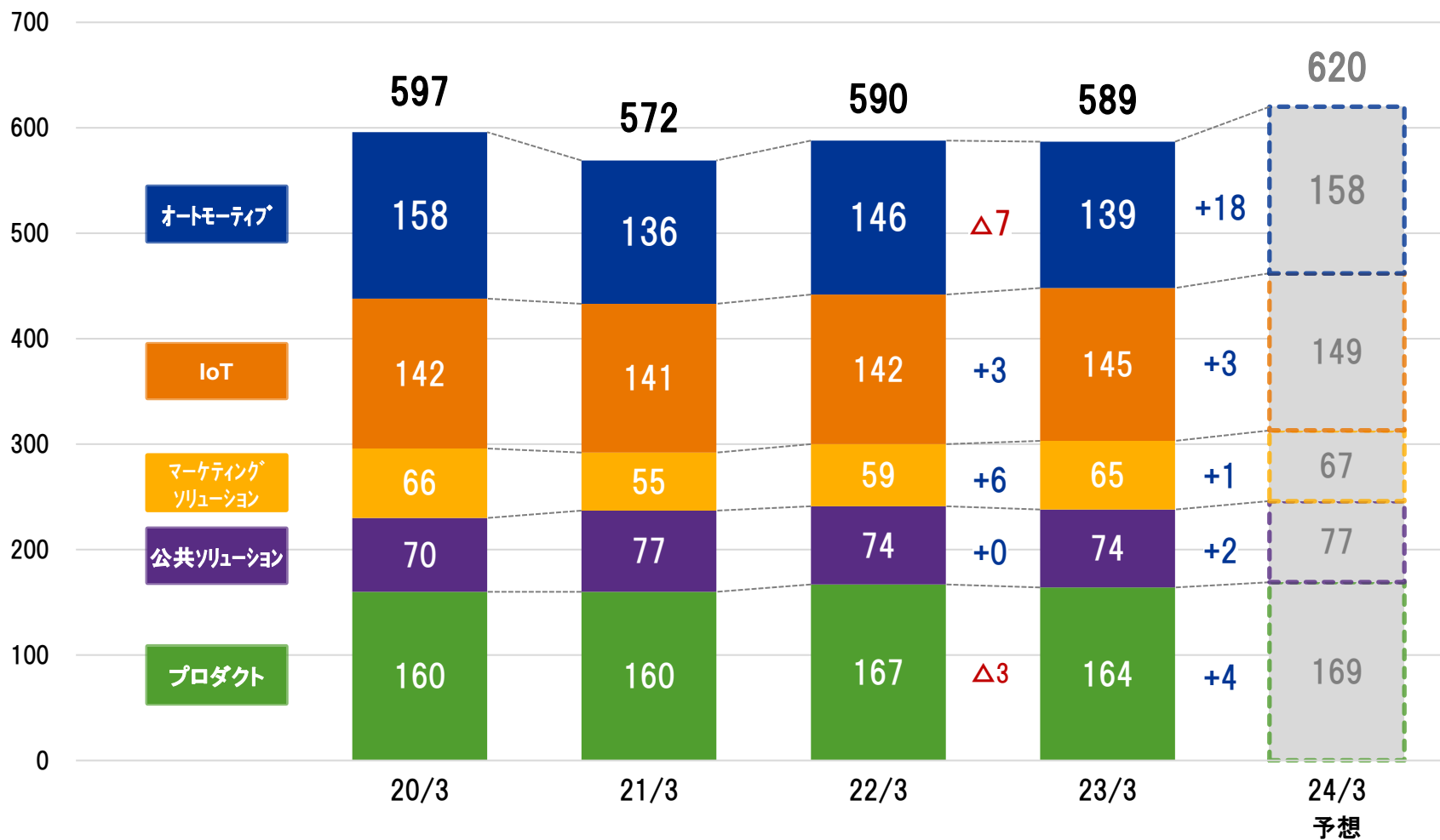
### 3) 通期業績予想の前提

(金額単位: 億円)



## 4) 事業別売上高の推移

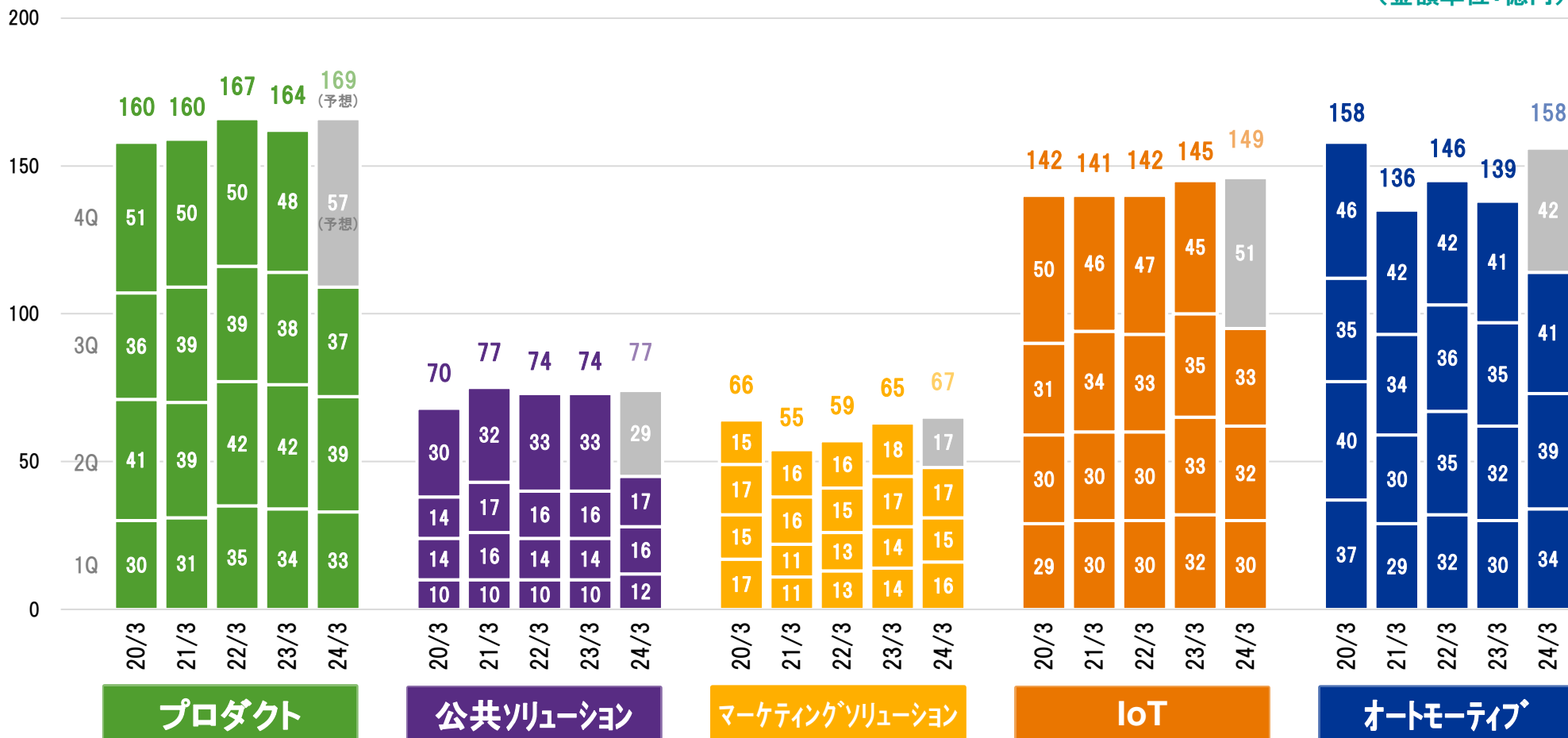
(金額単位: 億円)



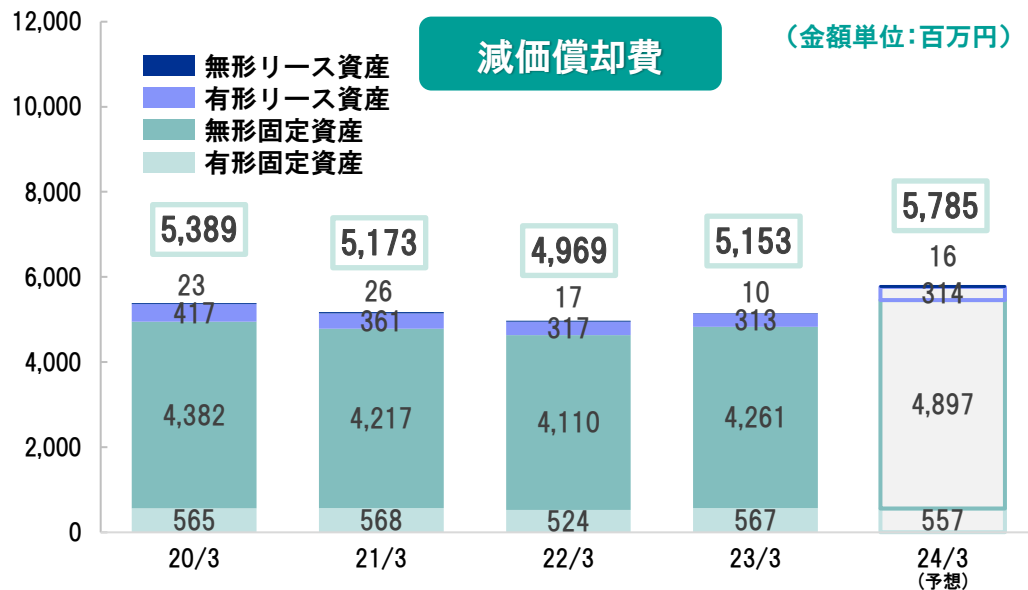
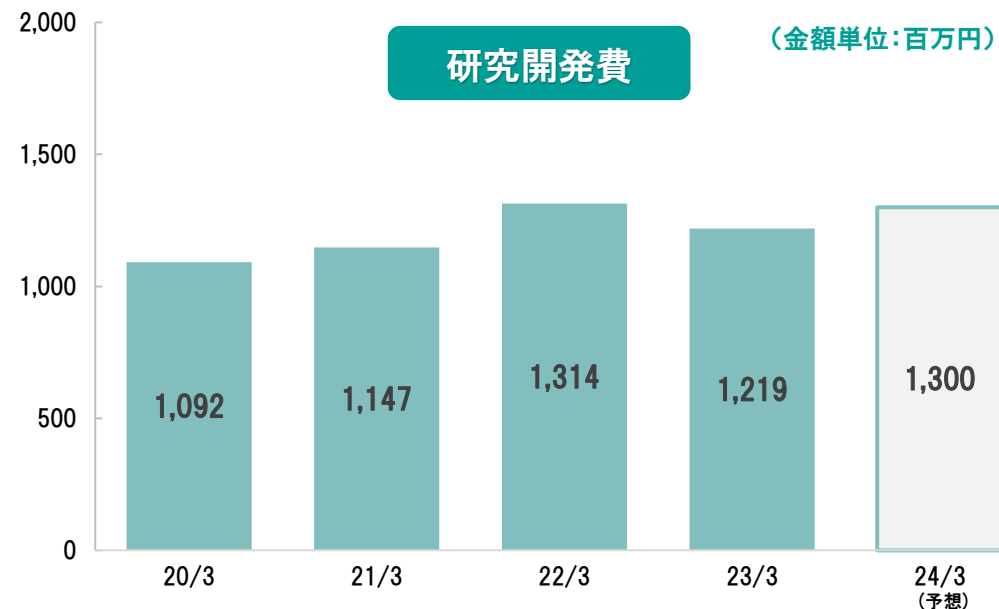
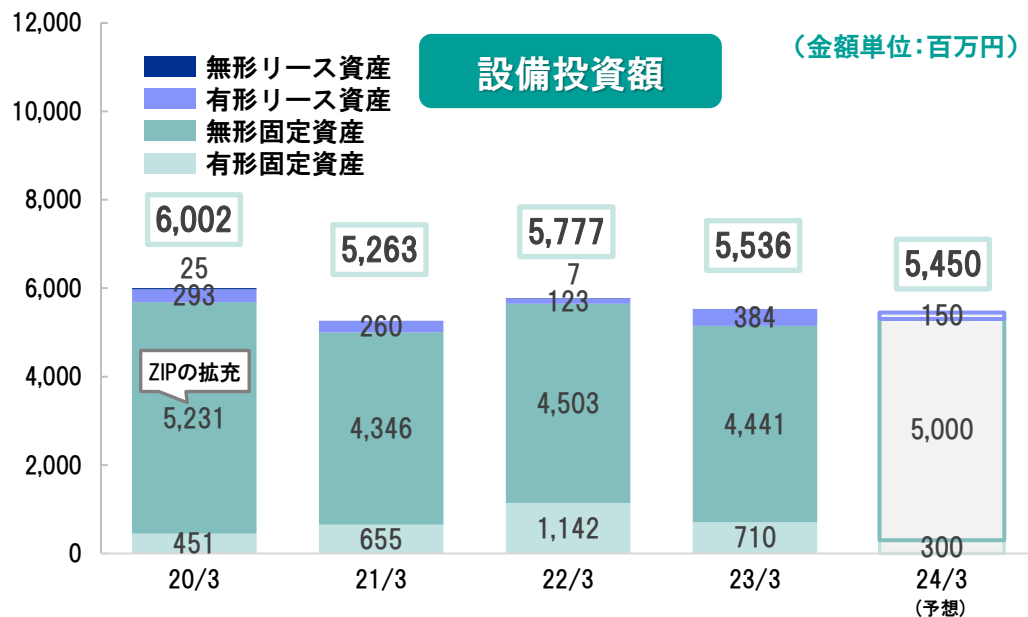
# 5) 事業別売上高の四半期別推移

✓ 2024年3月期第3四半期までは実績値、2024年3月期第4四半期は予想値

(金額単位: 億円)

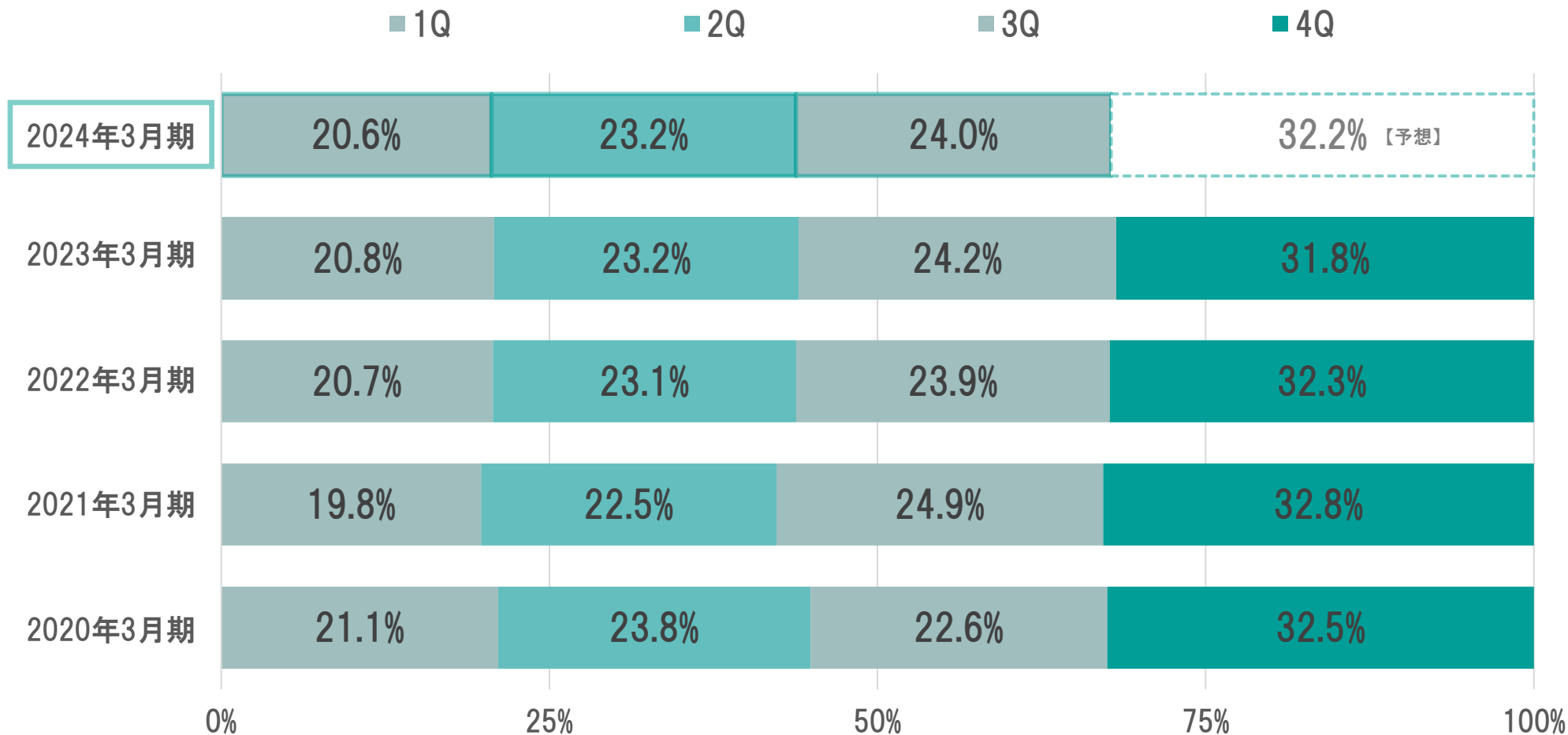


# 6) 設備投資額・減価償却費・研究開発費



## 7) 四半期売上高構成比率の推移

従来より当社グループの売上高は季節的変動が著しく、第4四半期に売上が集中する傾向





## 8) 価格改定による増収効果について

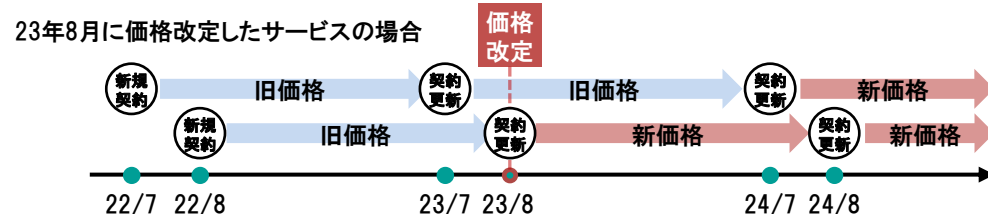
### 当事業年度の価格改定による増収効果は限定的

- 2023年4月以降、商品・サービス毎に順次価格改定を実施
- 年契約及び複数年契約案件は、次回更新時より新価格を適用するため、取引先への周知・交渉中であり、価格改定による本格的増収効果は来期以降の見込み

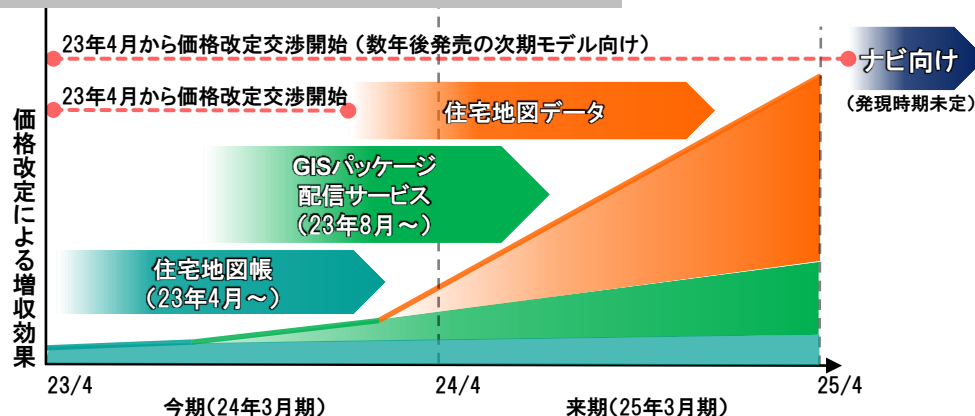
#### <商品・サービス毎の価格改定実施状況>

主な商品・サービス	2023年以降の価格改定実施状況
住宅地図帳	23年4月以降の発行分から適用
GISパッケージ 住宅地図等の配信サービス (ストック)	23年8月以降の新規契約 及び 契約更新分から適用
住宅地図データ提供 (フロー)	24年4月から新価格適用 現在、新価格見積提示・交渉中 既存案件は次回更新時から適用
カーナビ向け地図データ	次期モデルの価格提案・交渉実施中

#### <既存契約の価格改定適用イメージ>



#### <価格改定による増収効果のイメージ>



## 9) 主なニュースリリース・お知らせ

期間:2023年10月～2024年1月

リリース日	タイトル
2023年 10月18日	<a href="#">災害時の緊急情報や避難情報を多言語でタイムリーに配信する『Will-Signコンテンツパッケージ』を11月1日より提供開始</a>
11月15日	<a href="#">福島県浪江町とゼンリン「なみえI・DOプロジェクト」の実証実験【第2弾】を実施</a>
11月17日	<a href="#">ゼンリンの地図データを搭載したパナソニック製カーナビ「Strada（ストラダ）」用ダウンロード版更新地図を12月4日（月）から販売開始</a>
11月22日	<a href="#">開幕まであと500日！2025大阪・関西万博公式ライセンス商品「Expo2025ビューマップカウントダウンポスター」を販売開始</a>
12月5日	<a href="#">三井E&amp;Sとゼンリンデータコムが共同開発する「ドローンスナップ」対応機種にソニー製ドローン「Airpeak S1」がラインナップ～三井E&amp;S大分工場内のクレーンを対象に実証実験を実施～</a>
12月25日	<a href="#">日本最古の遊園地、浅草花やしきでの「ドローンスナップ」を活用したドローン自動飛行点検に参加～ゼンリンデータコム・三井E&amp;S・スカイブリッジ・椿本興業の協業で実現～</a>
2024年 1月15日	<a href="#">本田技研工業のカープローブデータを活用した災害時のための地図『通行実績情報マップ』を「いつもNAVI(web)」上で無償公開中</a>
1月22日	<a href="#">-ゼンリン、長崎市-「2024長崎ランタンフェスティバル」で公式サービスとして観光型MaaSアプリ「STLOCAL」を活用した観光DX推進に関する実証を実施</a>
1月24日	<a href="#">ゼンリンが調査・整備するEV充電スタンドの詳細情報を拡充満車・空車状況をリアルタイムで確認できる「満空情報」を提供開始</a>
1月25日	<a href="#">山口県光市とゼンリン地域の移動利便性向上を目指し「光市 予約制乗合タクシー」の実証実験を2月1日（木）より開始</a>

※詳細は当社ホームページをご覧ください (<https://www.zenrin.co.jp/information/>)

# ZENRIN

Maps to the Future

株式会社ゼンリン <https://www.zenrin.co.jp>

IR問い合わせ先 [zenrin-ir@zenrin.co.jp](mailto:zenrin-ir@zenrin.co.jp)